

11月15日(木) 18:30~

会場：静岡県評会議室



第135回定例研究会

だれでも参加できます

韓国労働運動等の調査(その2) ソウル市の労働政策

報告：林 克 氏（静岡県地方自治研究所 事務局長）

これからの企画

◆第136回定例研究会

日時…12月20日(木)
午後6:30~
場所…静岡県評会議室

◆第137回定例研究会(予定)

日時…1月17日(木)
午後6:30~
場所…静岡県評会議室

労働尊重都市ソウルの政策

9月2日~5日にかけて、「韓国労働運動等の調査と交流の旅」を行い、そこでソウル市の労働政策を伺いました。

朴元淳(パク・ウォンスン)市長が2011年に誕生してから、ソウル市では労働政策を重視する以下のような取り組みを行っています。

- ①非正規職の正規化=1万人の非正規を正規化
- ②生活賃金制の導入=賃金を引き上げて経済を発展
- ③保護されていない労働者の救済=相談、居場所作り
- ④労使関係の改善=労働者の代表を経営に関与
- ⑤上記の行政体系=労働問題に対応できるシステム

対応して頂いたチョ・ソンジュ政治発展所理事は、「労働組合は会社単位を越えて、社会的弱者と連帯していくような活動をしなければならない」と語っていました。